

平成26年10月31日

各 位

上場会社名 株式会社 名村造船所
 代表者 代表取締役社長 名村 建介
 (コード番号 7014)
 問合せ先責任者 取締役専務執行役員社長補佐 井関 延行
 (TEL 06-6543-3561)

平成27年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績との差異
 および平成27年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成27年3月期第2四半期累計期間(平成26年4月1日～平成26年9月30日)の業績実績数値が平成26年5月9日に公表いたしました業績予想値に比べ大幅な増益となりましたので下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成27年3月期通期(平成26年4月1日～平成27年3月31日)業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成27年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績との差異について

平成27年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値と実績数値との差異(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	60,000	7,900	7,600	4,100	84.82
今回実績(B)	59,774	12,110	12,530	8,242	170.35
増減額(B)-(A)	△ 226	4,210	4,930	4,142	
増減率(%)	△ 0.4	53.3	64.9	101.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	59,471	12,282	13,321	7,349	152.05

平成27年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値と実績数値との差異(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	47,000	6,400	6,300	3,300	68.22
今回実績(B)	46,224	10,168	10,775	7,274	150.25
増減額(B)-(A)	△ 776	3,768	4,475	3,974	
増減率(%)	△ 1.7	58.9	71.0	120.4	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	50,427	9,903	10,533	5,571	115.18

2. 平成27年3月期通期業績予想の修正について

平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	114,000	9,600	9,300	5,500	113.78
今回修正予想(B)	—	—	—	—	—
増減額(B)-(A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	124,559	22,291	23,677	12,687	262.46

※前回発表予想(平成26年5月9日)には平成26年10月1日に完全子会社化した佐世保重工業株式会社の業績は含まれておりません。またその影響につきましては、目下査定作業中であることから、通期連結業績予想は未定とさせていただきます。

平成27年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	87,000	6,900	6,900	4,000	82.70
今回修正予想(B)	89,000	11,100	11,500	8,100	139.89
増減額(B)-(A)	2,000	4,200	4,600	4,100	
増減率(%)	2.3	60.9	66.7	102.5	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	98,885	19,102	20,221	11,057	228.60

3. 業績予想数値と実績数値との差異および業績予想修正の理由

第2四半期累計期間の業績予想数値と実績数値との差異の主たる理由は、連結財務諸表提出会社（当社）の修正であります。売上高については、新造船事業における工事進捗等の見直しにより減収となりました。利益面においては、未ヘッジ外貨の円換算額は、期初公表時（平成26年5月9日）には1米ドル当たり100円としておりましたが、予想以上の円高修正が進み当累計期間に計上した新造船事業の収益が改善したことに加え、新造船事業における工事損失引当金の戻し入れ益が大きく、更にはコスト削減の成果も出始めました。この結果、個別・連結とも営業利益、経常利益、四半期純利益のいずれも大幅な増益となりました。

通期の個別業績予想修正の主たる理由は、第2四半期累計期間の実績数値が大幅に改善されたことに加えて、8月以降の急激な円安傾向を踏まえて今回、未ヘッジ外貨の円換算額を1米ドル当たり105円として見直したことや本年度第3・第4四半期に建造が本格化するリーマンショック後に受注した低採算船でコスト削減効果の加速が期待されること等によるものです。その結果、営業利益、経常利益、当期純利益のいずれも期初公表値に比べて大幅な増益となる見込みであります。

連結業績予想につきましては、平成26年5月23日公表のとおり、当社は株式交換を実施して平成26年10月1日に佐世保重工業株式会社を完全子会社といたしました。第3四半期連結会計期間以降同社が連結子会社になるに伴う業績変動の影響につきましては目下査定作業中であることから、現時点において通期連結業績予想は未定とさせていただきます。詳細がまとも次第、速やかにお知らせいたします。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上